

一生幸せで
いたかったら、
釣りを覚えなさい。

ふんわり

ご自由にご覧
TAKE FREE

ふんわり 第42号 2022年6月10日発行 (3,500部) ふんわり編集部 宮城県仙台市泉区福岡字西森下39-13 ☎022-725-2775 funwari@gmail.com



くりこま高原自然学校
スローダウンとスケールダウン
木のモノと触れあう
ワークショップを開催しました！

森林認証紙とライオンキを使用しています

わたしたちのこと。

ふんわりをキーワードに集まった私たち。業種もフィールドも違うけど、ユニークでオンラインワンで、おもしろいことができそうです。

くりこま高原自然学校
☎ 0228-46-2626
宮城県栗原市栗駒沼倉耕英中 57-1
http://kurikomans.com/
栗駒山麓をフィールドに、栗駒山、ブナの森、世界谷地湿原など大自然をご案内します。

株式会社 くりこまくんえん KURIKOMAE
☎ 0228-55-3261
宮城県栗原市篤沢袋島 44-7
http://www.kurikomakunen.jp/
伐採・製材・チップ・ペレットと一貫した事業を行っている材木屋です。お客様が安心して暮らせる木材を提供しています。

鳴子温泉もりたびの会 MoriTabi
大崎市鳴子温泉字沢 74-21
https://moritabi.org
地元旅館や林業家、工芸家など多様な関係者からなる協議会。森林資源を活用した体験プログラムの提供により新しい旅の仕組みづくりを目指します。

NPO法人 しんりん SHINRIN
☎ 0229-25-4668
宮城県大崎市鳴子温泉字玉ノ木 70 番地 エコラの森内
http://shinrin.org/
森林再生と地域活性化を目指し、持続可能な森づくりとごりの育成を実行中。

手のひらに太陽の家
☎ 0220-23-9755
宮城県登米市登米町寺地辺室山 17 番地 1
http://taiyounoie.org/
歴史と自然豊かな町・登米市登米町。地元木材をふんだんに使った心地よい建物で、宿泊・研修・レンタルスペース・子どもの遊び場など、多目的にご利用いただけます。オーガニックカフェも営業中！

ウエスタ
宮城県加美郡加美町字北町三番 44-1
http://woodenergy.co.jp
木質バイオマス燃料の製造、CHP、木質チップボイラーや薪ボイラーの導入、ペレットストーブ販売、熱供給を行っています！！

サスティナライフ 森の家
☎ 022-725-2775
宮城県仙台市泉区福岡字西森下 39-13
https://www.sustainlife.co.jp/
地域の資源や職人の技術を次代に受け継ぐ「サスティナブルな暮らし」を提案する住宅会社。



記事執筆・お問合せ…記事最後のアルファベットをご参照下さい

- ☐くりこま高原自然学校
- ☐NPO法人 しんりん
- ☐サスティナライフ森の家
- ☐くりこまくんえん
- ☐ウエスタ
- ☐鳴子温泉もりたびの会
- ☐手のひらに太陽の家

ふんわりに広告を載せてみませんか。詳しくは編集部までお問合せください。

ふんわり 第42号
[宮城版]
[2022年6月10日] 季刊 (年4回発行)
ふんわり編集部
〒981-3225
宮城県仙台市泉区福岡字西森下39-13
☎022-725-2775

present!

1 手のひらに太陽の家 クリアファイルセット A4・4色8枚セット [3名様] ☐

2 森林木香 きこり箸 [3名様] ☐

3 ふんわりと同じ 森林認証紙で作った 10x10x10cmメモ [3名様]

編集長ぼすとすくりぷと

こんにちは編集長塚原です。次号より編集長をふんわりとパトタッチします。これからも、小さなフリーペーパー「ふんわり」の大きなチャレンジを暖かく見守りください。それでは42号をお楽しみください。

Cover Photo
栗駒山の、とある沢にて。森と岩と一体になって、ただただ静かにイワナを待つ。

完成見学会 サスティナヴィレッジ鳴子研修棟
開催日未定
詳しくはホームページをご覧ください。

豆こけし絵付け
回 金土日 10:00～16:00 (正月を除く)
自分だけの手のひらサイズの豆こけしを作る体験です。

カウボーイキャンプ
回 7/26(火)～28(木) 2泊3日
室根高原の乗馬クラブにテント泊をしながら、乗馬練習や馬のお世話、キャンプ生活をします。乗馬と室根山の自然をじっくり楽しむ3日間です。

森のようちえん・小学校
回 6/25(土), 6/26(日), 7/3(日)
毎月1～2回、週末に開催しています。テーマは「は・ひ・ふ・へ・ほいこ」!栗駒山の大きな自然の中で、大人も子どももリラックス♪

鳴子の古道を歩くもりたび
回 土日祝
芭蕉の歩いた古道をガイドと歩こう!所要時間2時間程度。詳細はお問合せを。

- ☐くりこま高原自然学校
- ☐NPO法人 しんりん
- ☐サスティナライフ 森の家
- ☐手のひらに太陽の家
- ☐くりこまくんえん
- ☐ウエスタ
- ☐鳴子温泉もりたびの会

スローダウンとスケールダウン

「当たり前が特別に、特別が当たり前になった時代」

自然体験を仕事にして思うこと、すこし昔には、森遊びも川遊びも磯遊びも誰もが当たり前でできていた。そんなことが、だんだんと特別な非日常体験になってきていると感じる。逆に、特別だった外食や携帯電話や自動車を持つことが、低価格で毎日利用できたり、車が一人一台みたいになってきていること。これは単純にものごとや社会の価値が入れ替わったというには危険かもしれない。

わたしたちはある時点から大事な何かを見失い、地域や家庭の自然資源や教育的価値や暮らしの知恵について、気づいたら取り戻せないところに行ってしまうのではないか。これからの未来にとって、更なるスピーディーさや規模拡大は本当に必要なのか? もう少しスローダウンやスケールダウンが必要なんじゃないか? 東北にはまだ色んな大事を未来に残せる暮らし方や自然とのかわり方があると思って、具体的に自分の仕事を進める今日この頃です。

山の暮らしの備忘録。 第9回

栗駒山ででっかく遊ぼう!
山の遊び場・キャンプ場・ネイチャーガイド・ものづくり体験・焚き火クッキングなど、山の楽しみを体験いただけます。お子さん連れはもちろん、大人だけのご利用も歓迎いたします。詳しくは、自然学校のSNSへ!

fcalendar
ふんわり関連イベントカレンダー
2022 July-September
詳しい情報は巻末一覧から各団体HPをご覧ください。

くりこま高原自然学校
ログハウス・コテージ・キャンプサイト 利用申込受付中!

自然学校の代表が自作した本格ログハウスを宿泊にご利用いただけます。敷地内でのテント泊も利用可能です。素泊まり、食事付き、グループ貸し切り、ワーケーションなど、多様なニーズにお応えします。焚き火、アウトドアクッキングなど、自然学校ならではの楽しみも。トレッキング・山のアクティビティの拠点にもおすすめです。テント・キャンプ用品のレンタルも承ります。

塗師に教わる拭き漆体験
回 第一日曜 10:00～14:00 (正月を除く)
鳴子の間伐材で作ったお箸と箸置きに漆を塗ってみよう! 5日前までにお申込みください。所要時間2時間程度。

ふんわりズム、ふんわりすと。
ism + ist

はんのうはんあーていすと 半農半アーティスト 加藤鉄平さん Kato Teppei

それぞれの場所で輝きながら、スッと立っている人がいます。しかも、ふんわり。そんな人たちに、会いにいきました。ふんわりの、巻頭リレー!



いくつもの小さな山と林、大小さまざまな田んぼに囲まれた緑あふれる風景。人の暮らしと自然の領域がところどころ重なる里山に、どちらにも等しく風が吹いては抜けていく。加藤鉄平さんは一関市千厩生まれ、千厩育ち。おじいさんのりんご園だった土地を創作活動と展示の場として、里山からアートを発信しています。

子ども時代は誰とも分け隔てなく接するクラスの人気者。ちょっと変わった子でもあったという自覚もあり、探求心と好奇心が抜群に強くて、当たり前の回答ではなく、まわりが「ワッ」と驚くようなことができないかをひたすら考えていた。自然のものを観察することが大好きで、山や土手の散策に時間を忘れ、あれこれ実験のようなこともしてみました。「挿し木」で植物を増やすことや、生ごみを肥料にして植物の根っこに埋めてみたり、食べ終わったブドウの房を植えてみたり……そしてそれは、いまでも変わらず鉄平さんの表現の種となっています。

絵を描くことと同時に進行で鉄平さんが注ぐのが自然農の野菜づくり。雑草や虫と共存しながら、作った野菜を食べたり配ったり無人販売をしてみたり。創作活動は留まらず、飄々と野山を歩く、つらく長い開病期間を過ごしたこともありますが、命に関わる大病を経て、つらく長い開病期間を過ごしたこともありません。自然の中にあるものは、移り変わりを繰り返す季節と、さまざまな命の彩り。色彩の情報は、人それぞれ記憶や好みによって広がりが深まっていくそうです。ひとつの景色を見て何を連想するか——アートの受け取り方は人それぞれ違っていて、隣合わせに誰かがいたら、みんな違っていてだからこそ広がっていく。生きるということは、柔軟に対応するということだと思ふ。と、鉄平さんは語ります。鉄平さんの筆が向かうのは紙だけにおさまらず、長く使われてきた小屋や車、再利用された一斗缶、小箱や植木鉢、壊れた冷蔵庫。大きなシートに描かれて屋外に掲げられた作品は、個展のあいだ里山の風を受けて嬉しそうに揺れています。規格も制限もない、千厩の野山まるごとが鉄平さんのキャンバスです。

data & information
一関市千厩町を拠点に活動中
6月4日(土)～12日(日)まで開催開催中
Instagram @katou.teppeiaart

周りを「ワッ」と驚かす。それが変わらぬ、表現の種。



鳴子こども園 木材の トレーサビリティ

前号でお伝えした、鳴子こども園の伐採見学ツアー。私たちが山から伐りだした木が、その後どうなっていくのか、追いかけてみようと思います！

M



4 4月にはみんなでくりこまくんえんさんにお邪魔して製材工程を見学！丸太がどうやって木材に加工されていくのか、そして加工の時にたおが屑がベレットになる様子も一緒に見学しました。



3 園長先生が伐った丸太が製材されています！「園長」の文字が見えるかな……？



2 2月には園児たちが丸太の皮むきを体験しました。使った丸太はもちろん先生方が伐ったもの。



1 今年の1月まで、こども園の先生方による伐採体験が続きました！園長先生が体験した時と比べて、環境が過酷です…。

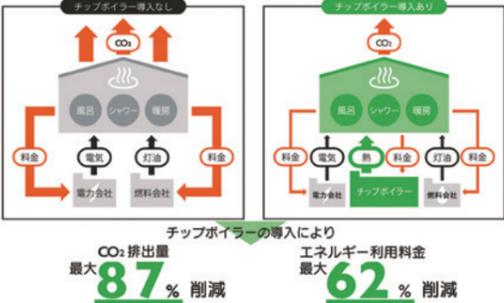


森のエネルギーを、 よもちのエネルギーに。

鳴子温泉もりたびの会は、昨年度、東北大学と共に川渡温泉地域の温泉旅館で使われているエネルギーについての調査をおこないました。館内暖房や、温泉の加温等に化石燃料を用いている3軒の温泉旅館で、その利用量や料金を調べ、木材を細かく砕いたチップを燃料とするチップボイラーに切り替えた場合の二酸化炭素の排出量や費用を算出しました。

その結果、二酸化炭素の排出量は年間最大87%削減、エネルギー利用料金も年間最大62%削減されることが分かりました。地域内に豊富にある森のエネルギーを使うことが、経済的にもメリットがあることを数値として示せたことは大きな収穫でした。今後、鳴子温泉地域の脱炭素に向けた取り組みに拍車がかかりそうです。

宿泊施設(温泉旅館)への木質チップボイラー導入によるCO2排出量及びエネルギー利用料金の変化



※この事業は「令和3年度エコタウン形成実現可能性調査等事業費補助金」を活用して実施しました。



<https://moritabi.org/media/>



大崎市鳴子温泉 サスティナヴィレッジ鳴子にて工事を進めていた「サスティナヴィレッジ鳴子研修棟」が、このほど完成を迎えました。こちらの建物は、学習塾「日能研」の大船校仮設教室(神奈川県鎌倉市)を移築とともに増改築し、計画的に再利用しました。

2016年に仮校舎として建てられた日能研大船校仮設教室は、駅前再開発のため、当初より4年間のみ使用される予定でした。木の命から子どもたちへの「学び」へつながるように、解体・再利用を前提とし、板倉工法で建築されました。昨年の3月、無事に4年間の役目を終えたこの仮校舎を解体。使える柱や梁などは、サスティナヴィレッジ鳴子研修棟で新たな命を吹き込まれ、建築用材として再利用が難しい材もカスケード利用し、エネルギーへと。今でき得る限りの「持続可能な学び」を具現化しました。



S

①梁をよく見ると、以前使っていたホゾ穴が
②リサイクル活用された梁や柱 ③新築時のワークショップに参加した子どもたちのサインが残っています ④仮設教室解体の様子。「4年間ありがとうございました！」

- 1
- 2
- 3
- 4



サスティナヴィレッジ 鳴子研修棟完成

【完成見学会】

※開催日未定

日程が決まり次第、ホームページ・SNSでお知らせいたしますので、ぜひチェックしてください！

木のモノと 触れあう ワークショップ を開催 しました！



栗駒岩ヶ崎の六日町商店街にある、だいたい十三里商店さまにて。こちらのスペースでは手作りの雑貨や土人形・張り子といった民芸品や木工品などが販売されています。スギやクリの木の端材などからレーザーカットされた様々な形のパーツを使って、自分だけのストラップやマグネット、ブローチなどを制作しました！GWということもあり、地元から県外の方まで色々な方が参加してくださいました。金具を取り付けたり、紐を通したりして簡単にストラップを作れます。自由に、お子さんや大人の方に創作を楽しんでいただきたいと思います。普段の忙しい所から離れて、じっくりゆっくり取り組める時間は大切だと感じます。イベント開催はSNSでもお知らせしています。ぜひ次回、開催の際にはご参加下さい。



くりこまくんえんHP
SNSもこちらから。



手のひらに 太陽の家

共に探る
地域に根ざした
次世代の
自然エネルギー開発

*FIT制度：自然エネルギーの買い取り価格を法律で定める「固定価格買取制度」



感じているこの頃です。



facebook 手のひらに太陽の家プロジェクト 検索

手のひらに太陽の家は、今年7月で設立10年目を迎えます。東日本大震災からの復興支援施設としてつくられたこの家では、大震災の教訓を活かし、設立当初から「自然との共生」をコンセプトの一つとして、自然エネルギーを生活に導入する工夫を施してきました。しかし10年で施設の経年変化は進み、10年前には見えなかった自然エネルギー活用の課題も見えてきました。FIT制度も収束に向かっています。今ここで立ち止まり、この10年を振り返る時に来ているのかもしれない。

太陽、風力、水力、生物資源などの自然エネルギーの利用は、化石資源に頼ることができない日本のような国にとって、「希望の光」とも言えるかもしれません。同時に、それが新たな環境破壊の火種になることもあれば、処理方法が確率されておらず、大量の「ゴミ」を生み出すことにつながってしまう可能性もあるという点が見えてきました。

登米市で昨年持ち上がった、バイオガス発電所建設計画は、良くも悪くも、計画の甘さ故に、市民の自然エネルギーへの関心を集め、新たなネットワークもできました。

この5月には、太陽熱温水器をご寄付いただいた株式会社ヒーターさんの点検を機会に、「太陽熱温水器って何？」という説明会を開催していただきました。世界、国内の自然エネルギー利用状況、先進的な試みの報告など興味深い内容に、皆、時間も忘れて盛り上がり、共に探る地域に根ざした次世代の自然エネルギー活用への手応えを感じていました。



くりこま高原自然学校
☎0228-46-2626
宮城県栗原市栗駒沼倉耕英中57-1
<http://kurikomanso.org/>



くりこまくんえん
☎0228-55-3261
宮城県栗原市鶯沢袋島巡44-7
<http://www.kurikomakunen.jp/>



NPO法人 しんりん
☎0229-25-4668
宮城県大崎市鳴子温泉字玉ノ木70番地エコラの森内
<http://shinrin.org/>



手のひらに太陽の家
☎0220-23-9755
宮城県登米市登米町寺池辺山17番地1
<http://taiyounoie.org/>



サスティナライフ 森の家
☎022-725-2775
宮城県仙台市泉区福岡字西森下39-13
<https://www.sustainablelife.co.jp/>

ウエスタ
宮城県加美郡加美町字北町三番44-1
<http://woodenergy.co.jp>



鳴子温泉もりたびの会
宮城県大崎市鳴子温泉字沢74-21
<https://moritabi.org>